

令和2年6月の自殺者数は、前月比では、北海道・全国（女性）において増加、全国・全国（男性）において減少でした。都道府県別では、自殺者数が増加したのは23、減少したのは21、変化なしは3でした。

2. 令和2年6月末と令和元年6月末の月別自殺者数の比較

令和2年6月	<北海道	71人、	全国	1,519人、	全国(男性)	1,025人、	全国(女性)	494人>
令和元年6月	<北海道	72人、	全国	1,640人、	全国(男性)	1,145人、	全国(女性)	495人>
前年比	<北海道	-1人、	全国	-121人、	全国(男性)	-120人、	全国(女性)	-1人>

前年同月比では、北海道・全国・全国男性・全国女性のすべてにおいて減少でした。また、都道府県別でみると、自殺者数が増加したのは13、減少したのは31、増減なしは3でした。

◇令和2年上半期における累計自殺者数（暫定値）[警察庁発表]◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇
今回は、全国及び北海道の令和2年の上半期の自殺者数についてまとめます。

1. 令和2年と令和元年の北海道と全国の上半期の累計自殺者数（単位：人）

	北海道	全国	男性（全国）	女性（全国）
令和2年（暫定値）	426	9,492	6,584	2,845
令和元年（確定値）	503	10,462	7,355	3,107
前年比	-77	-970	-771	-262

令和2年上半期の自殺者数は、前年に比べ、北海道・全国・全国男性・全国女性のすべてにおいて減少しています。特に、今年の北海道の自殺者の減少は大きく、47都道府県中東京に次いで2番目の減少数となっています。

2. 令和2年と令和元年の北海道における上半期の月別自殺者数（単位：人）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月
令和2年（暫定値）	71	63	77	74	70	71
令和元年（確定値）	77	85	82	91	96	72
前年比	-6	-22	-5	-17	-26	-1

月別では、令和2年1～6月の北海道で自殺者が最も多かったのは3月の77人でした。最も少なかったのは2月の63人でした。1～6月の中で、前年よりも月別自殺者数が増加した月は

自殺等の「深刻な相談への対応（支援）」に「(新型コロナウイルス感染症の) 影響が大きく、支援に大いに支障がある」と感じているのは 27 団体 (49.1%)。「影響はないので、従来通りの支援が可能だと感じる」と回答した団体は 3 団体 (5.5%) に留まった。

3. 今後の活動予定

新型コロナウイルス感染症の影響により 40 団体 (72.7%) が活動の見直しを検討しているが、そのうち 37 団体 (67.2%) は活動の継続に意欲的であった。

4. 団体活動継続の上で必要な支援（まとめ）

- ・活動従事者の安心や安全の確保に向けた支援
- ・リモートワーク等活動環境の整備のための支援
- ・活動場所の確保
- ・支援者（活動従事者）の支援

JSCP は新型コロナウイルス感染症拡大下において地方自治体が取り組む具体的な自殺対策として 7 つ提案しています。①組織内の連携体制の構築・強化、②住民への安心感の発信とセーフティーネットの積極的な活用、③自殺念慮を持つ者の早期の発見と支援につなぐ、④新型コロナウイルス関連の活動に従事する者に対する心のケア等の支援の実施、⑤過去の自然災害の被災者、これまで悩み、生きづらさを抱えていた人たち、自死遺族等への特別な配慮、⑥民間支援団体との連携による自殺対策の強化、⑦今後自殺リスクの高まりが懸念される要配慮者への支援、を挙げています。特に、④⑤⑥は今回の調査とも関連のある項目となっています。

自死遺族の会などの自助グループは、同じ問題を抱える者同士が集まり、体験や願いを語り合うことで、互いに援助し、回復を目指す集団および活動です。そういった目的のために、グループではお互いの声がかかりと聞こえる距離、あるいは表情や仕草のわかる距離での語り合いが行われてきました。ソーシャルディスタンスの徹底やしきりの設置など必要な対策をしつつ、グループを運営・開催していくことはとても難しい事かと思われませんが、途切れぬ支援が継続されていくことを望みます。

参考文献

いのち支える自殺対策推進センター、「自治体職員オンライン緊急研修会 配付資料」、2020
一般社団法人日本うつ病センター、『ワンストップ支援における留意点—複雑・困難な背景を有する人々を支援するための手引き—』、2018

【3】お知らせ.....

◇ 精神保健福祉センターでは、こころの電話相談を次の時間帯で行っています。

月曜から金曜日 9:00～21:00

土曜日祝日（12月29日～1月3日を除く） 10:00～16:00

Tel : 0570-064-556

※ご相談の電話が集中しますと、つながりづらい状態になりますがご了承ください。

◇ HP・携帯版 HP をご覧ください

北海道地域自殺対策推進センターの HP を開設しています。最新の北海道の状況を掲載しており、より情報を見やすく、分かりやすくお伝えできるよう心がけています。また、Andante のバックナンバーへのリンクもございますので是非ご覧ください。

パソコン HP URL : <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/sfc/jisatutaisaku.htm>

また、携帯電話で見ることができる携帯版 HP も開設しています。警察庁および北海道警察から公表された統計資料をもとに、北海道における自殺の状況を掲載しています。こちらも併せてご覧ください。

携帯 HP URL : <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/sfc/i/joukyou.htm>

【4】編集後記.....

北海道はすっかり夏真っ盛りと行った陽気となり、いよいよ扇風機がフル稼働するようになりました。虫達も動きだし、毎夜発生する謎の虫の対応に追われております。

さて、今月ですが少し珍しい“巻き添え”自殺のニュースが報道されました。7月7日に中国で起きたバスの乗客を巻き添えにした自殺です。バスの運転手が乗客ごとバスを湖に転落させ、運転手を含む21人の乗員が亡くなったそうです。日本でも、5月に福岡県で意図的に交通事故を起こし自殺するという事件がありました。中国での事件は、新型コロナウイルス感染症の影響から起きた精神疾患との関連が疑われているそうです。今のところ自殺者数など新型コロナウイルス感染症による統計的な影響は確認されていませんが、経済的な問題や精神的負担などはこれからの方がよりはっきり表出されてくるかと思われます。今後も注視する必要があると考えます。

いつもご愛読ありがとうございます。

次号 Vol.134 は、令和2年8月末に配信予定です。

お問い合わせ先

北海道立精神保健福祉センター
札幌市白石区本通16丁目北6番34号
Tel 011-864-7121
Fax 011-864-9546

URL <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/sfc/>

Mail hofuku.seishin1@pref.hokkaido.lg.jp